

カンボジア派遣

■ 嶋田和幸宣教師・嶋田薫宣教師定期帰国報告会

カンボジアに赴任して7年目となる嶋田両宣教師より、カンボジアの歴史や文化、この6年間の働きについて、また現在の新型コロナウイルス感染拡大の中でカンボジアの人々の暮らしについて、み言葉のメッセージとともにたっぷりお話しいただきます。世界の友と共に祈りを合わせるために、ぜひご参加ください。



日時：8月28日【土】 13:00～15:00

ZOOM（インターネット会議システム）にて行います。

100名までのミーティングルームです。下記ID・パスワード、またはQRコードからご参加ください。ミーティングID: 811 8513 9863 パスコード: 836338

主催：日本バプテスト連盟宣教部 協力：日本バプテスト女性連合



■ ミャンマーの状況を覚えて～祈り会のご紹介

2月1日にミャンマーで国軍によるクーデターが起きてから半年以上経ちました。若者や公務員を含む国民によるCDM(市民不服従運動)は現在も続けられていますが、国軍や警察の弾圧により多くの死者、逮捕・拘留される人々、難民が出、人々の生活の困窮は深まっています。残念ながら今に至るまで、ミャンマー国民の自由と人権は奪われたままです。そして日本にいる在日ミャンマー人も、滞在期間が切れると送還されてしまう不安の中で過ごしています。加えて、ミャンマーでは新型コロナウイルスの感染が急激に広がり、たくさんの人々が亡くなる状況が続いています。

クーデター発生直後にミャンマーバプテスト連盟は声明文を出し、日本バプテスト連盟も祈りと連帯の意思を表明しました(連盟ホームページ参照)が、キリスト者の祈りの連帯として、連盟も運営団体となっている「マイノリティ宣教センター」協賛の祈り会をご紹介します。クーデター発生の1週間後から始まり、**毎週金曜日 21時から**オンラインで開催されている「**ミャンマーをおぼえる祈り会**」です。現在のミャンマーの状況

や祈りの課題が分かち合わせ祈り合う場となっています。よろしければご参加ください。**(お願い：SNSでミーティングIDをお知らせする時には、数字や文字を使わず、右の画像を貼り付けてください。)**

また『世の光』8月号に、マウマウタン牧師(国分教会)による詳しい状況報告とお祈りの課題が掲載されています。こちらもお読みください。

平和の実現を求め、続けて祈りを合わせていきたいと思えます。

Prayer Meeting for Myanmar in Japan
Every Friday Night 21:00-21:40 (time Tokyo)
Zoom ID: 835 4339 0368 パスコード: 540189
呼びかけ人 マイノリティ宣教センター共同主事 渡邊さゆり(info@cmim.jp)

問合せ先：日本バプテスト連盟 宣教部国外伝道室 井形、丁野

Tel 048-883-1091